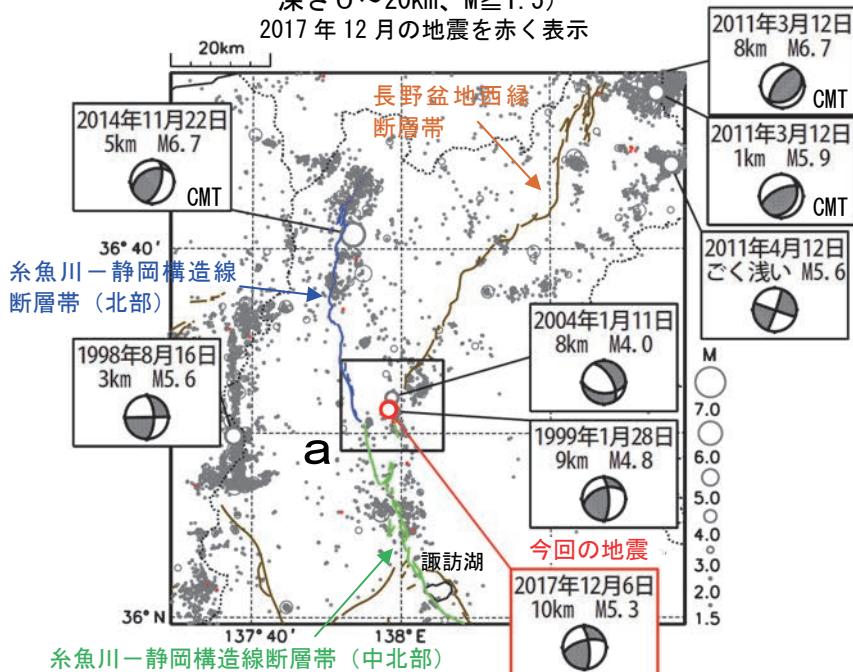


12 月 6 日 長野県中部の地震

震央分布図

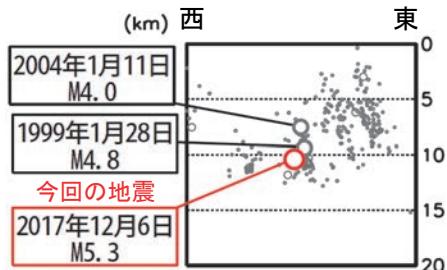
(1997 年 10 月 1 日～2017 年 12 月 31 日、
深さ 0～20km, M \geq 1.5)

2017 年 12 月の地震を赤く表示

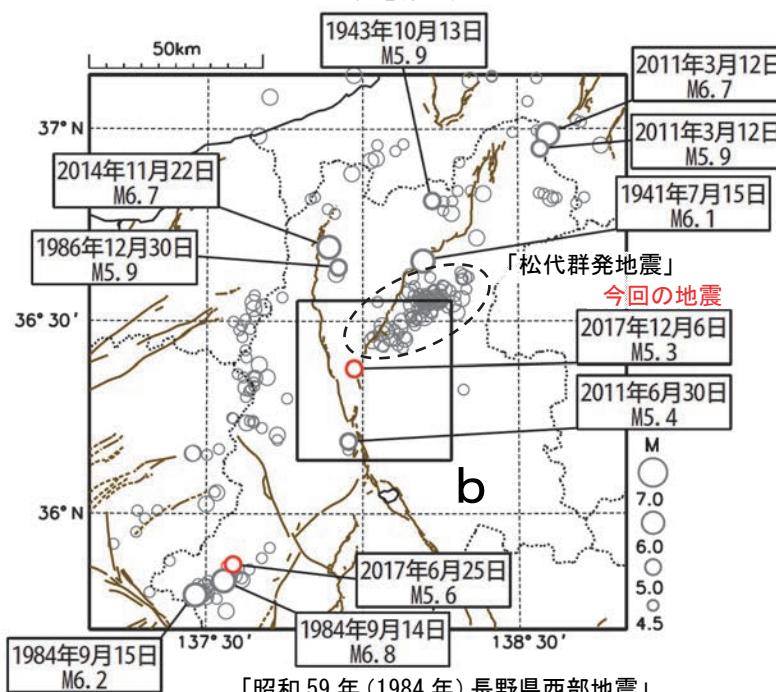


青、緑、茶色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による
活断層を示す

領域 a 内の断面図 (東西投影)



震央分布図
(1923 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日、
深さ 0～40km, M \geq 4.5)
2017 年の地震を赤く表示

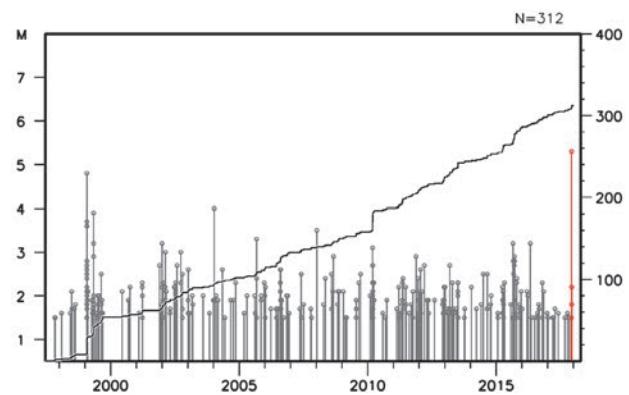


2017 年 12 月 6 日 00 時 13 分に長野県中部の深さ 10km で M5.3 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

今回の地震は糸魚川-静岡構造線断層帯 (中北部) の北端部付近に位置している。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 a) では、M3.0～4.0 程度の地震がしばしば発生しており、今回の地震の発生場所の近くで、1999 年 1 月 28 日に M4.8 の地震 (最大震度 4、住家一部破損 3 棟などの被害 (総務省消防庁による))、2004 年 1 月 11 日に M4.0 の地震 (最大震度 4) が発生している。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央の周辺 (領域 b) では、震央の北東側で「松代群発地震」が発生しているほか、M5.0 程度の地震が時々発生している。

領域 b 内の M-T 図

